

プレスリリース（仮訳）

2024年4月18日
大阪

監査監督機関国際フォーラム（IFIAR）が2024年本会合を大阪にて開催

4月16日から18日にかけて、金融庁/公認会計士監査審査会事務局の主催で、2024年IFIAR本会合が開催された。48の国・地域を代表するIFIARメンバーが大阪に集い、監査業界における主要な動向や新たなトレンドに関する議論を行った。

IFIAR議長及び公認会計士監査審査会事務局長の長岡隆氏は、次のように述べた。「高品質な監査への期待が一層高まる環境の中で、世界の監査監督当局からの参加者を大阪にお招きすることができ嬉しく思う。本会合は、現在、監査監督当局が直面する最も重要な動向に対応する上で、取組を継続し、高品質な監査を担保するという共通の目的を追求するための重要な機会であると共に、3日間の意欲的なアジェンダは、IFIARメンバーが監査監督の経験や知見を共有するプラットフォームを提供した。」

一連のパネルディスカッションを通じて、IFIARメンバー、オブザーバー、その他の主要なステークホルダーの代表は、監査法人のガバナンス、サステナビリティ報告及び保証、監査法人によるテクノロジー活用の増加を含む、主要トピックについて議論した。

- シンポジウムセッションは、監査法人のガバナンス、監査法人のガバナンス構造における問題点を浮き彫りにした近時の事例に端を発した主要課題に関する基調講演により開幕した。このトピックは、分科会でも取り上げられ、4人のIFIARメンバーが、それぞれの法域における経験及び近時の進展を共有した。
- 2つ目の分科会では、サステナビリティ情報の報告における保証に焦点を当てた。サステナビリティ情報の報告は、近年、多くの法域において一般的になっており、新たな期待ギャップの克服における利用者及び保証提供者にとっての課題について、外部のパネリストが議論した。
- 3つ目の分科会では、IFIARメンバーに対して、IFIARのテクノロジータスクフォースにおける知見の提供、及び監査を行う監査法人におけるテクノロジー活用の増加に対して、IFIARメンバーが行った対応について議論する機会となった。
- その他のセッションにおいては、IAASB（国際監査・保証基準審議会）議長とIESBA（国際会計士倫理基準審議会）議長が、サステナビリティ、基準設定プロセスにおけるモニタリンググループ改革の影響を含む、それぞれの基準設定活動を議論した。また、IFIARの投資家・その他利害関係者ワーキンググループの外部諮問グループのメンバーは、利害関係者の限定的保証、合理的保証の理解、及び企業報告・監査における監査委

員会の監督について議論をした。

- 過去の会合と同様、6大グローバル監査ネットワーク¹のグローバルCEOはIFIARメンバーに対して幅広いトピックについて説明するよう招待され、そこでは (i) 各ネットワークのガバナンス戦略、(ii) 公表されているIFIARの検査指摘調査報告の失望・懸念すべき結果への対応を含む監査品質についての見解、(iii) 人工知能 (AI) のような新しいテクノロジーの活用に向けたネットワークの計画について議論された。

ワーキンググループ及びタスクフォース

IFIARのワーキンググループ (WG) 議長・タスクフォース (TF) リードから、過去1年間の活動報告と今後一年間の計画についての共有があった。IFIARのWGとTFはメンバー主導で運営されており、IFIARがミッションを達成する上で重要な役割を果たしている。IFIARの5つのWGと3つのTFは、監査品質、検査、執行、基準設定、投資家・その他利害関係者、テクノロジーの活用、サステナビリティ保証の各分野において、実務的な成果物に焦点を当てている。

IFIAR について

監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、2006年に設立され、アフリカ、北米、南米、アジア、大洋州、欧州の56の国・地域の独立した監査監督当局で構成されている。そのミッションは、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することである。IFIARは、世界中の監査品質や規制の実務について、対話や知見の共有ができるプラットフォームを提供し、規制活動における協調を促している。IFIARの公式のオブザーバーは、バーゼル銀行監督委員会 (BCBS)、欧州委員会 (EC)、金融安定理事会 (FSB)、保険監督者国際機構 (IAIS)、証券監督者国際機構 (IOSCO)、公益監視委員会 (PIOB) 及び世界銀行である。IFIARに関する更なる情報については、IFIAR ウェブサイト (www.ifiar.org) を参照されたい。

¹ 各 GPPC ネットワークは、各国又は法域において法的に独立した法人で構成されている。GPPC ネットワークは、Global Public Policy Committee に参画しており、BDO、Deloitte Touche Tohmatsu、Ernst & Young、Grant Thornton、KPMG 及び PricewaterhouseCoopers に代表される。